

未来の看護師たちが職場体験

茨城県看護協会主催の高校生を対象とした「1日看護体験」が8月7日に城西病院で行われました。体験には、結城一、結城二、鬼怒商、古河一、下館二、真壁の6つの高校から2年と3年生の10人が参加しました。

午前中は病院内を見学し、手術室で手術台に乗ったり、CT室で検査の様子を疑似体験したり、MRI、透析センターなどを見学しました。午後は、内科病棟と外科病棟に分かれ、看護師体験をしました。

内科病棟の5人は、血管カテーテルの検査を実際に見学しました。生徒たちは、手首の血管から細い管を心臓まで通し、血管の様子をレントゲンなどで検査する様子を実際の検査やモニターを通して食い入るように見つめていました。

外科病棟では、ベッドメイキングや血圧測定、血糖値測定、お茶ゼリー体験などをしました。

高校2年の時に城西病院でインターンシップを行った吉村杏奈さん、前川果穂さん、梅山七星さんは「去年できなかった貴重な体験ができてよかった」。佐藤吏君は「看護師はいろんな人と連携して仕事をしていると感じた」と話し、全員が「看護師は忙しい仕事」と感じました。でもやりがいがある。職場体験をして、強く看護師になりたいと思った」と話していました。

平成29年8月7日

